【屋ネット】 _{軒先落雪防止金具}

取扱•施工説明書



屋本ット H100







ISO9001認証取得



TEL (0256) 38-1871代 FAX (0256) 38-5159代

施工される前に…

【屋ネット】各種(以下、本製品)の取付工事は必ず専門の屋根・瓦業者様が行って下さい。尚、製品取付方法、取付箇所の選定、製品劣化及び天変地異、気象状況、その他本製品の取付けに対して発生した全ての事由に起因するいかなる損害・事故についても弊社は一切の責めを負いません。商品設置前には必ず事前調査を行っていただき、施工者及び施主様の判断により本製品及び積雪荷重による負荷に十分に耐えうるしっかりとした設置箇所に施工をお願い致します。また、本製品からの落雪による損害・事故についても弊社は一切の責めを負いませんので予めご了承いただきますよう、お願い申し上げます。

安全上の注意

- ・本製品取付工事の際には関係法令を遵守し安全な施工を心掛けてください。
- ・本製品は軒先から直近の雪止金具・雪止瓦・アングルの間の雪を「落ちにくくする」ものです。それより上部に積もった雪には別途雪止金具等の施工を行なってください。それらが行なわれない場合には屋根全体の雪荷重に耐え切れず製品ごと落下する可能性があります。
- ・取付ける屋根(瓦·雪止金具等含む)の材質、状態及び予想積雪量を事前に調査確認し、製品荷重及び積雪荷重に対して十分な強度(破損及び落下しない)のある箇所に設置してください。
- ・弊社の推奨する設置方法、取付部品の設置個数及び設置間隔を遵守してください。又、事前調査の結果、定められた取付方法及び取付部品の設置個数では製品落下の可能性があると判断されたときは施主様、施工業者様協議、判断により必ず補強を行なってください。
- ・本製品取付後は速やかに製品本体、取付部品及び取付箇所等、安全に問題がないか必ず確認してください。また定期的に保守・点検を行い、製品本体、取付部品及び取付箇所の劣化や緩みがないか必ず確認してください。必要あれば、即時補修・交換を行なってください。
- ・本製品取付後も必ず雪下ろしを行なってください。雪下ろしの実施時期については、設置場所の気象条件、取付箇所の強度、雪比重等によって異なりますので、施主様、施工主様協議、判断により適時行なってください。
- ・本製品は100%落雪を防ぐものではなく「落雪しにくくする」ための装置です。設置状況、気象状況等によっては落雪する場合もあります。設置箇所に積雪がある場合、その下は大変危険ですので絶対に立ち入らないようにしてください。

施工上の注意点

- ・本製品は屋根軒先用落雪防止装置です。
- ・屋根材・屋根勾配・屋根流れ長さ・太陽光パネルの面積等によって、製品の選択・取付方法等が異なります。また、その状況によっては、積雪荷重に耐えられず、製品が破損・落下する可能性がございます。その際はお取り付けをご遠慮いただく場合がございますので、事前にご確認下さい。
- ・本製品は、既存の雪止装置(雪止金具・雪止瓦・雪止アングル等)を利用して取付を行います。お取り付けの際は、雪止装置・屋根材の状態(強度・劣化状況等)、及び予想される積雪量・雪比重等を事前に調査・確認をし、製品重量及び積雪荷重に対して十分な強度が確保出来る事をご確認下さい。
- ・本製品の各種取付部品は、取付先(雪止金具・雪止瓦・雪止アングル・各種屋根材の軒先部分・軒樋の吊金具等)の寸法・形状等によっては、取付ける事が出来ない場合がございます。事前にご確認下さい。
- ・本製品をお取付けいただいた際、積雪の有無に関係なく、各種取付部品の取付先(雪止金具・雪止瓦・雪止アングル・各種屋根材の軒先部分・軒樋の吊金具等)に不具合が生じましても、弊社は一切の責めを負いません。
- ・本製品をお取付けいただいた際、積雪の有無に関係なく、太陽光発電システムのパネル・架台・部品等に不具合、 及び発電効力の低下等が生じましても、弊社は一切の責めを負いません。
- ・本製品・屋根材・太陽光パネル等の保護の為、積雪量が多い場合は、雪下ろしを行って下さい。雪下ろしの目安に関しましては、各強度・雪比重等により異なりますので、施主様・施工業者様で御協議の上、適時行って下さい。
- ・定期的に点検・保守を行って下さい。必要があれば、即時補修・交換を行って下さい。
- ・製品の仕様・取付方法等は、予告なしに変更する場合がございます。



CONTENTS

26

27**~**29

<u>施工される前に</u> 安全上の注意	<u></u>		
施工上の注意			7
製品	2		
製品構成·製品特長	3		
施工例写真	4~5		
平葺•段葺		平板瓦	
平葺・段葺 施工方法チャートま	表 6	平板瓦 施工方法チャート表	18
施工方法 各種	7~9	施工方法 各種	<u>19~21</u>
立平		和瓦	
立平 施工方法チャート表	10	和瓦 施工方法チャート表	22
施工方法 各種	11~13	施工方法 各種	<u>23~25</u>
瓦棒		コロニアル	
瓦棒 施工方法チャート表	14	コロニアル 施工方法チャート表	26

15**~**17



施工方法 各種

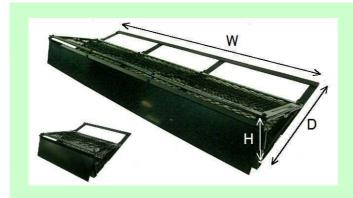


施工方法 各種





製品



屋ネット Y-	1 / Y-3≷=		
W寸法(mm)	905 / 315		
D寸法(mm)	330		
H寸法(mm)	110		
重量(kg)	2.5 / 0.85		
	本体:アルミ		
材質	軒先フック:SUS304		
	波板∶ポリカ		

カラー:ブラック ※受注生産にて、その他カラー対応できます。



屋ネット H100) / H100≷=		
W寸法(mm)	905 / 315		
D寸法(mm)	200		
H寸法(mm)	100		
重量(kg)	2.2 /0.75		
	本体:アルミ		
材質	軒先フック:SUS304		

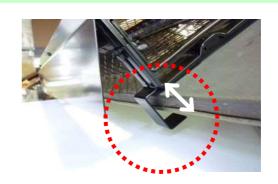
カラー:ブラック ※受注生産にて、その他カラー対応できます。



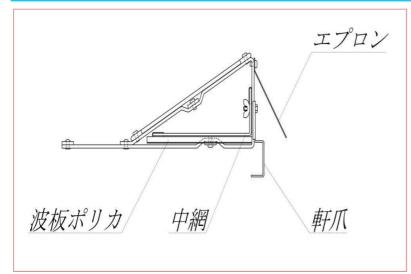
屋ネット H180) / H180≷二		
W寸法(mm)	905 / 315		
D寸法(mm)	235		
H寸法(mm)	180		
重量(kg)	2.7 / 0.9		
	本体:アルミ		
材質	軒先フック: SUS304		

カラー:ブラック ※受注生産にて、その他カラー対応できます。

軒先フック スライド幅			
既存品	3~35mm		
和瓦用	78 ~ 96mm		



製品構成



※屋ネット【Y-1・Y-3】の構成 図になります。本体は4×20の フラットバーを使用しておりま す。

屋ネットH100・H180(ミニ含む) には波板ポリカは使用してい ません。

また、受注生産品に限り左記 の各記載部品の有無も指定い ただけます。

製品特長

1.【独自のデザイン】※次ページ、施工例を御参照下さい。

【屋ネット】シリーズはオリジナルのエプロンが網部を隠し屋根と一体化し、大変すっきりとした外観を実現しました。また、空気層を設けることにより、融雪効果を促進します。 スマートなデザインで建物と美しく調和します。

2. 【アルミ】の採用

【屋ネット】シリーズは全てアルミで出来ています。(一部部材を除く)アルミは熱伝導率が高い為、雪溶けを早め、SUS304ステンレスと比較すると10倍以上になります。

また、板厚4 * , 巾20 * ,のアルミフラット バーを使用している為、丈夫なつくりのう えに2.5キロと軽量設計。施工店様の 作業の効率アップにも役立ちます。

材料	(熱伝導率w/m. ℃×10₂)
アルミ	1.95
SUS304	0.16
SUS430	0.26
鉄	0.99

※単位面積を通して熱エネルギーが運 ばれる速さの温度勾配に対する比として 定義される。

3 【焼付+粉体(2コート2ベーク)塗装】

【屋ネット】シリーズには通常の雪止に使用されるカチオン電着塗装の上に粉体塗装を施し、 屋根を錆・電食から守ります。従来の金具よりも格段に耐蝕性に優れた塗装になります。

施工例写真(Y-1•Y-3)



施工例写真(H180)











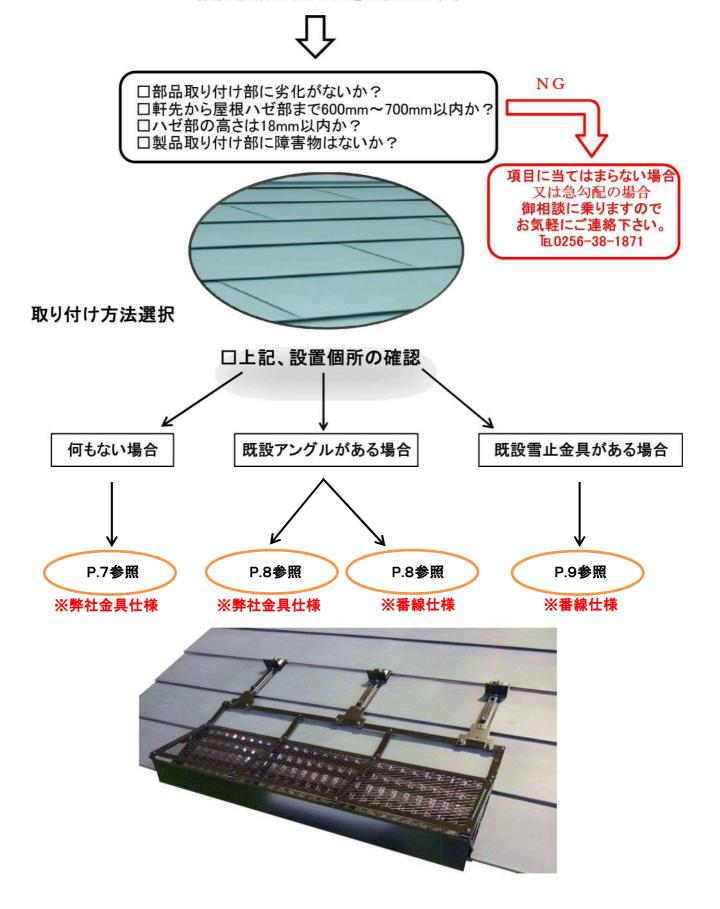


太陽光パネルからの滑雪もしっかり抑えます。

施工方法

平葺·段葺

準備 I 設置個所の安全性を確認します。



平葺•段葺

□何にも無い(既設の雪止・アングル等)場合

施工方法:専用金具にて施工

①軒爪の高さを決めます



屋ネット本体に取り付いている軒爪をスライドさせ、唐草の高さに合わせて調整します。

④フック部を固定します



専用金具先端のつか み部のネジを、締めま す。

②専用金具を取り付けます



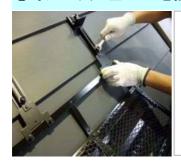
屋根に横葺用の金具 YT-1を取り付けます。 屋ネット本体910巾で 金具のピッチ割りをし ます。

5完成



屋ネット本体1台につき3点留めを推奨としますので、専用金具を3本使用して同じ様に3ヶ所固定して下さい。

③専用金具と屋ネットを接続します



屋ネット本体の軒爪を 唐草部に引っ掛けて 本体と金具を接続しま す。

ジョイント部



一列に複数台取り付けする時のジョイント部の金具取り付けは 左記写真を参照して下さい。

<注意>

屋ネットは、軒先の雪を「落ちにくく」する金具です。 屋ネット止金具の上部で必ず雪止金具を入れて下さい。

一列での複数台取り付け時のつかみ金具 数量は

金具数量=(本体台数×2)+1 上記計算式にて、算出して下さい。

使用金具

- ●商品名 屋ネット止金具
- ●品番 YT-1
- ●材質 SUS304
- ※100mm、スライド可能 全長は285~385となります。



取り付け注意事項

YT-1を取り付けの際 は 締付けトルク 175kgf.cm

平葺•段葺

口既設アングルが施工されている場合

施工方法:専用帯板・番線にて施工

①軒爪の高さを決めます



屋ネット本体に取り付いている軒爪をスライドさせ、唐草の高さに合わせて調整します。

※専用帯板仕様

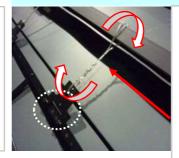
②専用金具で屋ネットを接続します



屋ネット上部に専用金 具のアングル用帯板を 巻き付け、ボルトナット で固定します。専用金 具のアングル用帯板 は、長さ300mm・600mm の2種類があります。

※番線仕様

②番線で屋ネットを接続します



屋ネット上部につかみ 金具を取り付けし、ネ ジを締め付け固定しま す。

さらにアングルとつか み金具を番線にて巻き 付け、固定します。番 線は必ずステンレスの #16(1.5mm)以上のも のを使用し、往復3回 以上巻き付けて下さい。

③完成



屋ネット本体1台につき3点留めを推奨としますので、専用金具は屋ネット本体1台につき、3個必要です。

③完成



屋ネット本体1台につき3点留めを推奨としますので、つかみ金具を屋ネット本体1台につき3本使用して同じ様に3ヶ所固定して下さ

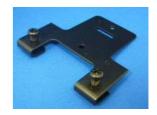
<注意>

屋ネットは、軒先の雪を「落ちにくく」する金具です。 屋ネット止金具の上部で必ず雪止金具を入れて下さい。 ※一列で複数台取り付け時の金具 ジョイント部については、前ページの ジョイント部写真を参照して下さい。

- ●商品名 アングル用帯板
- ●品番 OI-2-1
- ●材質 SUS304
- ※帯板20巾300 全長は300mmとなります。



- ●商品名 つかみ金具
- ●品番 -
- ●材質 SUS304



平葺•段葺

□既設の雪止金具がある場合

施工方法:番線にて施工

①軒爪の高さを決めます



屋ネット本体に取り付いている軒爪をスライドさせ、唐草の高さに合わせて調整します。

4)完成



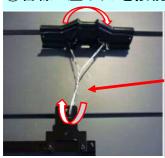
屋ネット本体1台につき3点留めを推奨としますので、つかみ金具を3本使用して同じ様に3ヶ所固定して下さい。

②フック部を固定します



屋ネット上部につかみ 金具を取り付けし、ネジ を締め付け固定します。

③番線で屋ネットを接続します



雪止金具とつかみ金 具を番線にて巻き付け、 固定します。番線は必 ずステンレスの# 16(1.5mm)以上のもの を使用し、往復3回以 上巻き付けて下さい。

※一列で複数台取り付け時の金具ジョイント部については、前ページのジョイント部写真を参照して下さい。

<注意>

屋ネットは、軒先の雪を「落ちにくく」する金具です。 屋ネット止金具の上部で必ず雪止金具を入れて下さい。

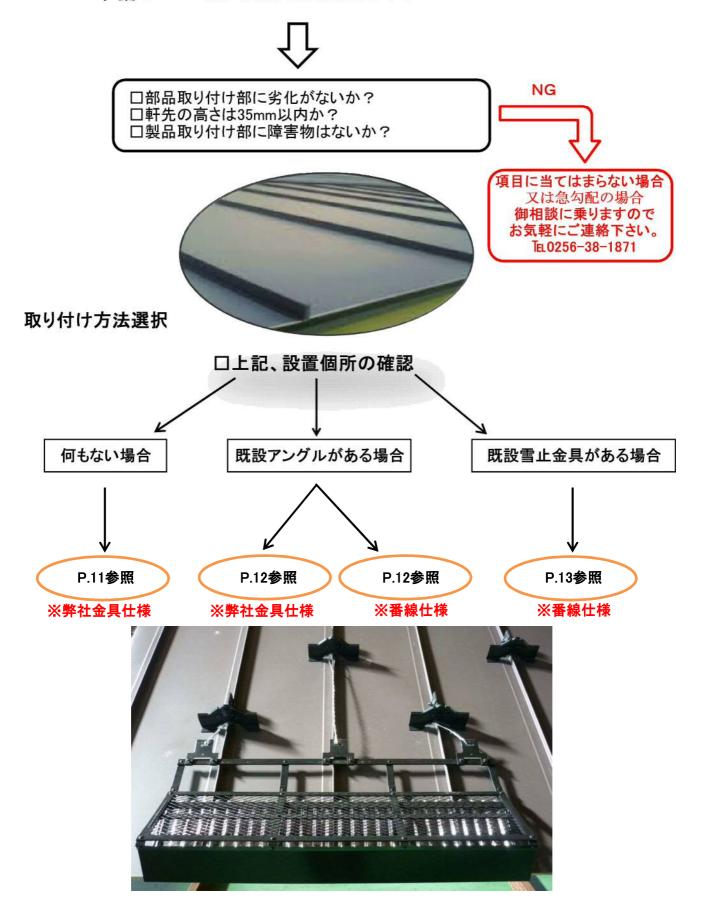
- ●商品名 つかみ金具
- ●品番 -
- ●材質 SUS304



施工方法

立平

準備 I 設置個所の確認をします。



立平

□何にも無い(既設の雪止・アングル等)場合

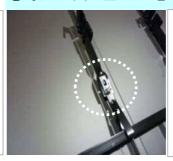
施工方法:専用金具にて施工

①軒爪の高さを決めます



屋ネット本体に取り付いている軒爪をスライドさせ、唐草の高さに合わせて調整します。

④専用金具と屋ネットを帯板にて接続します



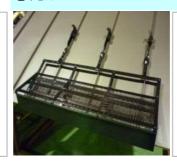
専用金具付属帯板を 本体に巻きつけ、ボルトナットで専用金具に 固定し、雪止金具本体 のナットを締め付けます。

②弊社雪止金具を取り付けます



屋根にアングル用の 雪止金具を取り付けま す。 (仮固定)

5完成



本体1台につき、立平 の働きに合わせた金 具が必要です。

③専用金具と弊社雪止金具を接続します



専用金具YCT-1のフック部を雪止金具のボルトとナットの間に引っ掛けます。

専用金具付属帯板は長さ300mm・600mmの2種類があります。

<注意>

屋ネットは、軒先の雪を「落ちにくく」する金具です。 屋ネット止金具の上部で必ず雪止金具を入れて下さい。

使用金具

- ●商品名 三晃・立平フック金具帯板(300)付
- ●品番 YCT-1
- ●材質 SUS304

※帯板20巾300 全長は300mmとなります。



※段付きタイプのフック金具もあります。



立平

口既設アングルが施工されている場合

施工方法:専用帯板・番線にて施工

①軒爪の高さを決めます



屋ネット本体に取り付いている軒爪をスライドさせ、唐草の高さに合わせて調整します。

※専用帯板仕様

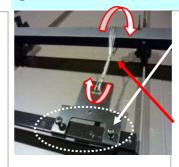
②専用金具で屋ネットを接続します



屋ネット上部に専用金 具のアングル用帯板を 巻き付け、ボルトナット で固定します。専用金 具のアングル用帯板 は、長さ300mm・600mm の2種類があります。

※番線仕様

②番線で屋ネットを接続します



屋ネット上部につかみ 金具を取り付けし、ネ ジを締め付け固定しま す

さらにアングルとつか み金具を番線にて巻き 付け、固定します。番 線は必ずステンレスの #16(1.5mm)以上のも のを使用し、往復3回 以上巻き付けて下さい。

③完成



屋ネット本体1台につき3点留めを推奨としますので、専用金具は屋ネット本体1台につき、3個必要です。

③完成



屋ネット本体1台につき3点留めを推奨としますので、つかみ金具を屋ネット本体1台につき3本使用して同じ様に3ヶ所固定して下さい。

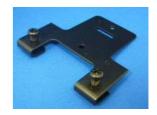
<注意>

屋ネットは、軒先の雪を「落ちにくく」する金具です。 屋ネット止金具の上部で必ず雪止金具を入れて下さい。 ※一列で複数台取り付け時の金具ジョイント部については、次ページのジョイント部 写真を参照して下さい。

- ●商品名 アングル用帯板
- ●品番 OI-2-1
- ●材質 SUS304
- ※帯板20巾300 全長は300mmとなります。



- ●商品名 つかみ金具
- ●品番 一
- ●材質 SUS304



立平

口既設の雪止金具がある場合

施工方法:番線にて施工

①軒爪の高さを決めます



屋ネット本体に取り付いている軒爪をスライドさせ、唐草の高さに合わせて調整します。

4完成



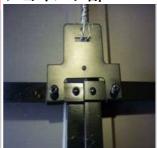
屋ネット本体1台につき3点留めを推奨としますので、つかみ金具を3本使用して同じ様に3ヶ所固定して下さい。

②フック部を固定します



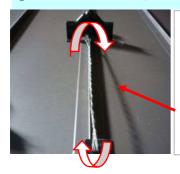
屋ネット上部につかみ 金具を取り付けし、ネジ を締め付け固定します。

ジョイント部



一列に複数台取り付けする時のジョイント部の金具取り付けは左記写真を参照して下さい。

③番線で屋ネットを接続します



雪止金具とつかみ金 具を番線にて巻き付け、 固定します。番線は必 ずステンレスの# 16(1.5mm)以上のもの を使用し、往復3回以 上巻き付けて下さい。 一列での複数台取り付け時のつかみ金具数量 は

金具数量=(本体台数×2)+1

上記計算式にて、算出して下さい。

く注意>

屋ネットは、軒先の雪を「落ちにくく」する金具です。 屋ネット止金具の上部で必ず雪止金具を入れて下さい。

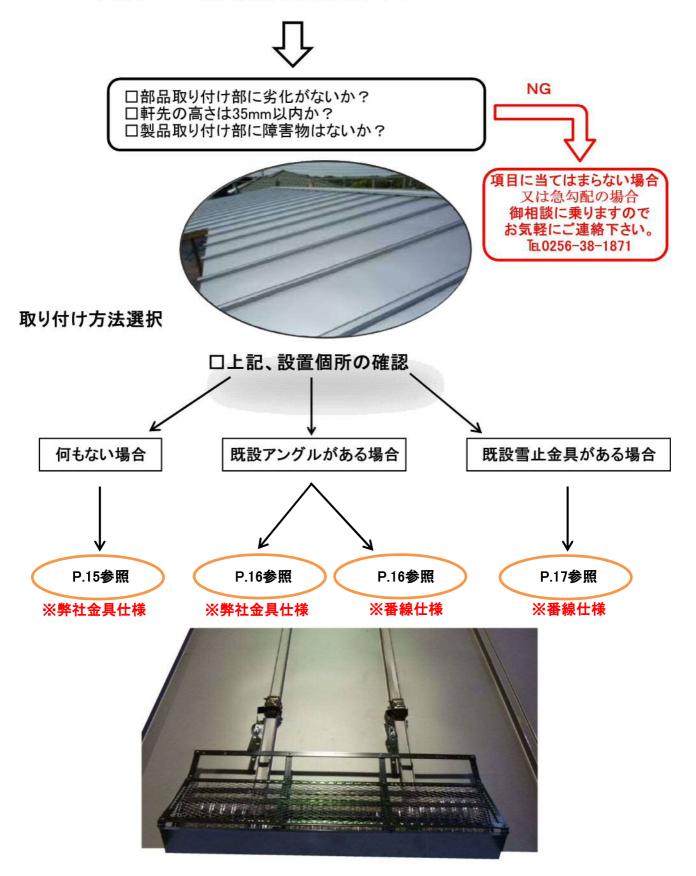
- ●商品名 つかみ金具
- ●品番 -
- ●材質 SUS304



施工方法

瓦棒

準備 I 設置個所の確認をします。



瓦棒

□何にも無い(既設の雪止・アングル等)場合

施工方法:専用金具にて施工

①軒爪の高さを決めます



屋ネット本体に取り付いている軒爪をスライドさせ、唐草の高さに合わせて調整します。

④専用金具で屋ネットと接続します



屋ネット本体の軒爪を 唐草部に引っ掛けて 専用金具付属帯板を 本体に巻き付け、ボル トとナットで固定します。 雪止金具の位置を決め、雪止金具か付けます。

②弊社雪止金具を取り付けます



屋根にアングル用の 雪止金具を取り付けま す。(仮固定)

⑤完成



本体1台につき、瓦棒 の働きに合わせた金 具が必要です。

③専用金具と弊社雪止金具を接続します



専用金具YCT-1のフック部を雪止金具のボルトとナットの間に引っ掛けます。

専用金具付属帯板は長さ300mm・600mmの2種類があります。

<注意>

屋ネットは、軒先の雪を「落ちにくく」する金具です。 屋ネット止金具の上部で必ず雪止金具を入れて下さい。

使用金具

- ●商品名 三晃・立平フック金具帯板(300)付
- ●品番 YCT-1
- ●材質 SUS304

※帯板20巾300 全長は300mmとなります。



※段付きタイプのフック金具もあります。



瓦棒

口既設アングルが施工されている場合

施工方法:専用帯板・番線にて施工

①軒爪の高さを決めます。



屋ネット本体に取り付いている軒爪をスライドさせ、唐草の高さに合わせて調整します。

※弊社金具仕様

②専用金具で屋ネットを接続します



専用金具のアングル 用帯板を巻き付け、ボルトとナットで固定します。 専用金具付属帯板は、長さ300mm・600mmの2種類があります。

※番線仕様

②番線で屋ネットを接続します。



屋ネット上部につかみ 金具を取り付けし、ネ ジを締め付け固定しま す。

さらにアングルとつか み金具を番線にて巻き 付け、固定します。番 線は必ずステンレスの #16(1.5mm)以上のも のを使用し、往復3回以 上巻き付けて下さい。

③完成



屋ネット本体1台につき3点留めを推奨としますので、専用金具は屋ネット本体1台につき、3個必要です。

③完成



屋ネット本体1台につき3点留めを推奨としますので、つかみ金具を3本使用して同じ様に3ヶ所固定して下さい。

<注意>

屋ネットは、軒先の雪を「落ちにくく」する金具です。 屋ネット止金具の上部で必ず雪止金具を入れて下さい。 ※一列で複数台取り付け時の金具ジョイント部については、次ページのジョイント 部写真を参照して下さい。

- ●商品名 アングル用帯板
- ●品番 OI-2-1
- ●材質 SUS304
- ※帯板20巾300 全長は300mmとなります。



- ●商品名 つかみ金具
- ●品番
- ●材質 SUS304



瓦棒

口既設の雪止金具がある場合

施工方法:番線にて施工

①軒爪の高さを決めます



屋ネット本体に取り付いている軒爪をスライドさせ唐草の高さに合わせて調整します。

4完成



屋ネット本体1台につき 3点留めを推奨としてますので3ヶ所固定してください。

②つかみ金具を固定します



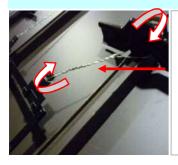
屋ネット上部につかみ 金具を取り付けし、ネ ジを締め付け固定しま す。

ジョイント部



一列に複数台取り付けする時のジョイント部の金具取り付けは 左記写真を参照してください。

③番線で屋ネットを接続します



雪止金具とつかみ金 具を番線にて巻き付け、 固定します。番線は必 ずステンレスの# 16(1.5mm)以上のもの を使用し、往復3回以 上巻き付けて下さい。 一列での複数台取り付け時のつかみ金具数量 は

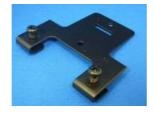
金具数量=(本体台数×2)+1

上記計算式にて、算出して下さい。

<注意>

屋ネットは、軒先の雪を「落ちにくく」する金具です。 屋ネット止金具の上部で必ず雪止金具を入れて下さい。

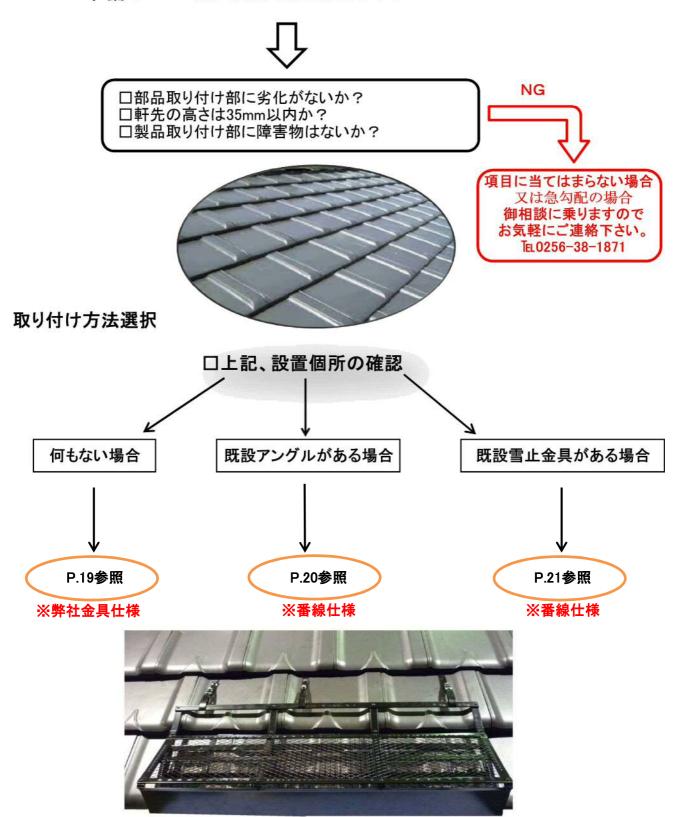
- ●商品名 つかみ金具
- ●品番
- ●材質 SUS304



施工方法

平板瓦

準備 I 設置個所の確認をします。



平板瓦

口何にも無い(既設の雪止・アングル等)場合

施工方法:専用金具にて施工

①軒爪の高さを決めます



屋ネット本体に取り付いている軒爪をスライドさせ、瓦の高さに合わせて調整します。

④専用金具を屋ネットと接続します



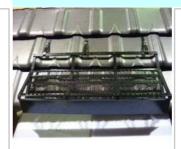
本体の軒爪を軒先瓦 に引っ掛け、専用金具 付属帯板を本体に巻 き付け、専用金具とボ ルトナットで固定します。

②瓦を取ります



軒先より3枚目の瓦を 取り外します。

⑤完成



②で取り外した瓦を施工して完成です。

本体1台につき、専用 金具3本での取り付け を推奨します。

③専用金具を取り付けます



専用金具YCT-2を釘 打ちします。

平板瓦の種類で金具 の水上部形状が変わ りますので、事前に御 確認下さい。 専用金具付属帯板は長さ300mm・600mmの2種類があります。

<注意>

屋ネットは、軒先の雪を「落ちにくく」する金具です。 屋ネット止金具の上部で必ず雪止金具を入れて下さい。

使用金具

- ●商品名 平板瓦用金具帯板(300)付
- ●品番 YCT-2
- ●材質 SUS304

※帯板20巾300 全長は300mmとなります。



平板瓦

□既設アングルが施工されている場合

施工方法:番線にて施工

①軒先の高さを決めます



屋ネット本体に取り付いている軒爪をスライドさせ、瓦の高さに合わせて調整します。

4完成



屋ネット本体1台につき3点留めを推奨としますので、つかみ金具を3本使用して同じ様に3ヶ所固定して下さい。

②フック部を固定します



屋ネット上部にフック 金具を取り付けし、ネ ジを締め付け固定しま す。 ※一列で複数台取り付け時の金具ジョイント部については、次ページのジョイント部写真を参照して下さい。

③番線で屋ネットを接続します



本体の軒爪を軒先瓦に 引っ掛け、アングルとつ かみ金具を番線にて巻き 付け固定します。

番線は必ずステンレスの #16(1.5mm)以上のもの を使用し、往復3回以上 巻き付けて下さい。



※既に施工されているアングルから屋 ネット上部まで270mm以下の場合は アングル用帯板600での施工が可能で す。

施工方法はP.8を参照して下さい。

<その他>

屋ネットは、軒先の雪を「落ちにくく」する金具です。 屋ネット止金具の上部で必ず雪止金具を入れて下さい。

- ●商品名 つかみ金具
- ●品番
- ●材質 SUS304



平板瓦

□既設の雪止金具がある場合

施工方法:番線にて施工

①軒爪の高さを決めます



屋ネット本体に付いている軒爪をスライドさせ、瓦の高さに合わせて調整します。

4完成



屋ネット本体1台につき3点留めを推奨としますので、つかみ金具を3本使用して同じ様に3ヶ所固定して下さい。

②フック部を固定します



屋ネット上部につかみ 金具を取り付けし、ネ ジを締め付け固定しま す。

ジョイント部



一列に複数台取り付けする時のジョイント部の金具取り付けは 左記写真を参照して下さい。

③番線で屋ネットを接続します



雪止金具とつかみ金 具を番線にて巻き付け、 固定します。番線は必 ず#16(1.5mm)以上の ものを使用し、往復3 回以上巻き付けて下さ い。 一列での複数台取り付け時のつかみ金具数量 は

金具数量=(本体台数×2)+1

上記計算式にて、算出して下さい。

<注意>

屋ネットは、軒先の雪を「落ちにくく」する金具です。 屋ネット止金具の上部で必ず雪止金具を入れて下さい。

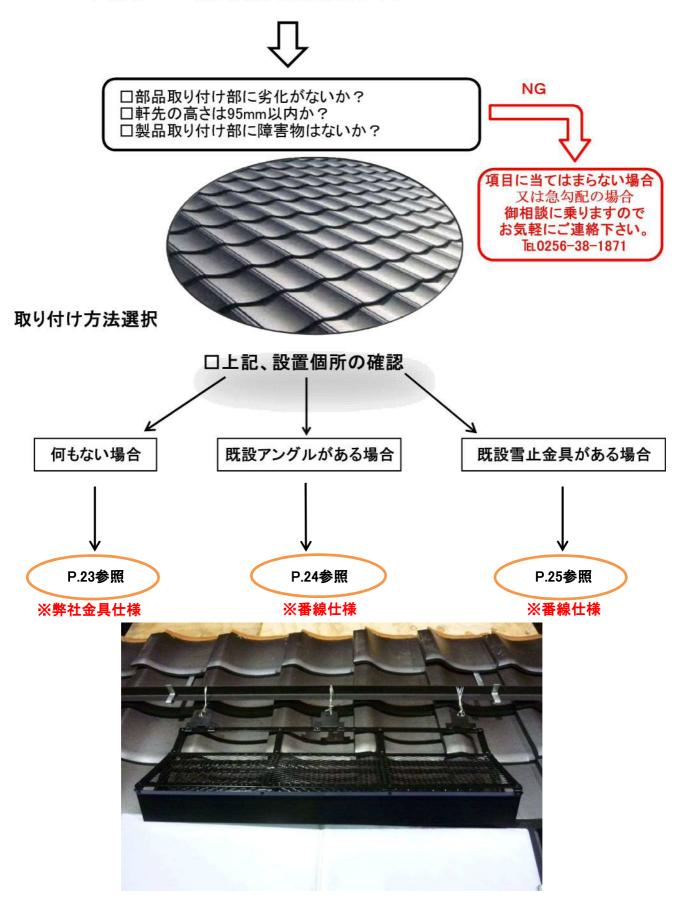
- ●商品名 つかみ金具
- ●品番
- ●材質 SUS304



施工方法

和瓦

準備 I 設置個所の確認をします。



和瓦

□何にも無い(既設の雪止・アングル等)場合

施工方法:専用金具にて施工

①軒爪の高さを決めます



屋ネット本体に取り付いている軒爪をスライドさせ、軒先瓦の高さに合わせて調整します。

※和瓦に施工の場合 は注文時に和瓦用軒 爪の指定をお願いしま す。

4 専用金具を屋ネットと接続します



本体の軒爪を軒先瓦 に引っ掛け、専用金具 付属帯板を本体に巻 き付け、専用金具にボ ルトナットで固定します。

②瓦を取ります



軒先より3枚目の瓦を 取り外します。



5完成

②で取り外した瓦を施工して完成です。

本体1台につき、専用 金具3本での取り付け を推奨します。

③専用金具を取り付けます



専用金具YCT-3を釘 打ちします。 専用金具付属帯板は長さ300mm・600mmの2種類があります。

<注意>

屋ネットは、軒先の雪を「落ちにくく」する金具です。 屋ネット止金具の上部で必ず雪止金具を入れて下さい。

使用金具

- ●商品名 和瓦用(先付)金具帯板(300)付
- ●品番 YCT-3
- ●材質 SUS304

※帯板20巾300 全長は300mmとなります。



和瓦

□既設アングルが施工されている場合

施工方法:番線にて施工

①軒先の高さを決めます



屋ネット本体に取り付 いている軒爪をスライ ドさせ、軒先瓦の高さ に合わせて調整します。

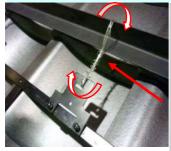
※和瓦に施工の場合 は注文時に和瓦用軒 爪の指定をお願いしま す。

②フック部を固定します



屋ネット上部につかみ 金具を取り付けし、ネ ジを締め付け固定しま す。

③番線で屋ネットを接続します



本体の軒爪を軒先瓦 に引っ掛け、アングル とつかみ金具を番線に て巻き付け固定します。 番線は必ずステンレス の#16(1.5mm)以上の ものを使用し、往復3 回以上巻き付けて下さ

い。 く注意> 屋ネットは、軒先の雪を「落ちにくく」する金具です。 屋ネット止金具の上部で必ず雪止金具を入れて下さい。

使用金具

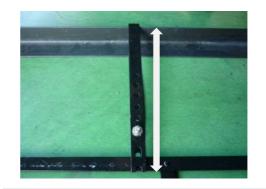
- ●商品名 つかみ金具
- ●品番
- ●材質 SUS304

4)完成



屋ネット本体1台につ き3点止めを推奨とし ますので、つかみ金具 を3本使用して同じ様 に3ヶ所固定して下さ い。

※一列で複数台取り付け時の金具ジョ イント部については、次ページのジョイ ント部写真を参照して下さい。



※既に施工されているアングルから屋 ネット上部まで270mm以下の場合は アングル用帯板600での施工が可能で す。

施工方法はP.8を参照して下さい。



和瓦

口既設の雪止金具がある場合

施工方法:番線にて施工

①軒爪の高さを決めます



屋ネット本体に取り付いている軒爪をスライドさせ、軒先瓦の高さに合わせて調整します。

※和瓦に施工の場合 は注文時に和瓦用軒 爪の指定をお願いしま す。

4)完成



屋ネット本体1台につき3点留めを推奨としますので、つかみ金具を3本使用して同じ様に3ヶ所固定して下さい。

②フック部を固定します



屋ネット上部につかみ 金具を取り付けし、ネ ジを締め付け固定しま す。

ジョイント部



一列に複数台取り付けする時のジョイント部の金具取り付けは左記写真を参照して下さい。

③番線で屋ネットを接続します



雪止金具とつかみ金 具を番線にて巻き付け、 固定します。番線は必 ずステンレスの# 16(1.5mm)以上のもの を使用し、往復3回以 上巻き付けて下さい。 一列での複数台取り付け時のつかみ金具数量 は

金具数量=(本体台数×2)+1

上記計算式にて、算出して下さい。

<注意>

屋ネットは、軒先の雪を「落ちにくく」する金具です。 屋ネット止金具の上部で必ず雪止金具を入れて下さい。

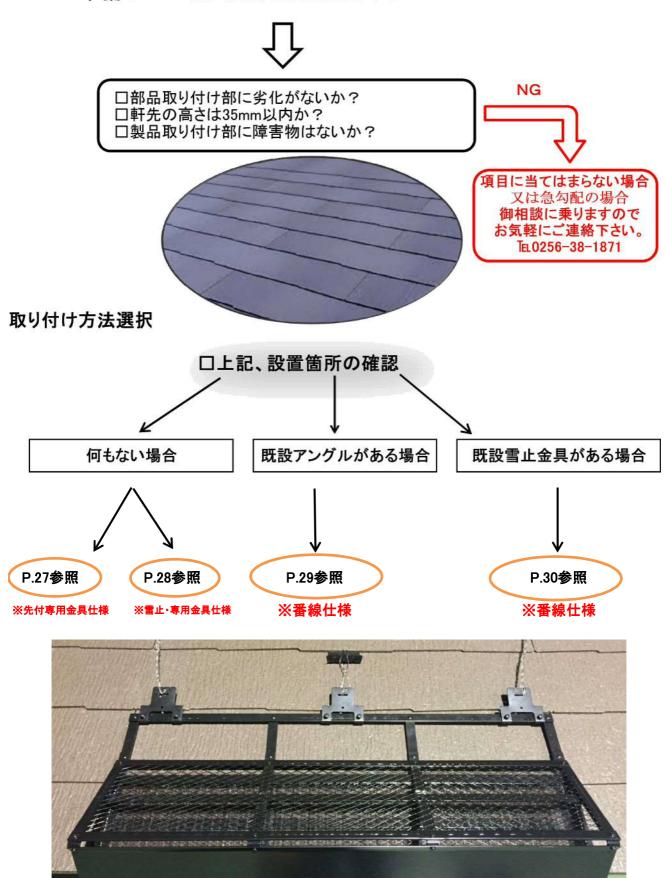
- ●商品名 つかみ金具
- ●品番 -
- ●材質 SUS304



施工方法

コロニアル

準備 I 設置個所の確認をします。



コロニアル

□何にも無い(既設の雪止・アングル等)場合

施工方法: 先付専用金具にて施工

①専用金具を取り付けます



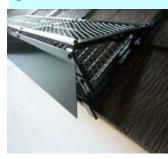
屋根にコロニアルの先 付専用金具を取り付け ます。

4完成



本体1台につき、専用 金具3本での取り付け を推奨します。

②軒爪の高さを決めます



屋ネット本体に取り付いている軒爪をスライドさせ軒先の高さに合わせて調整します。

専用金具付属帯板は長さ300mm・600mmの2種類があります。

③専用金具で屋ネットと接続します



専用金具付属帯板を 本体に巻きつけ、ボルトナットで専用金具に 固定し、雪止本体の ナットを締め付けます。

<注意>

屋ネットは、軒先の雪を「落ちにくく」する金具です。 屋ネット止金具の上部で必ず雪止金具を入れて下さい。

- ●商品名 コロニアル用先付金具帯板(300)付
- ●品番 -
- ●材質 SUS304
- ※帯板20巾300 全長は300mmとなります。

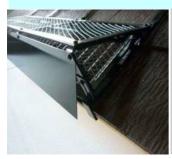


コロニアル

□何にも無い(既存の雪止・アングル等)場合

施工方法:専用金具にて施工

①軒爪の高さを決めます



屋ネット本体に取り付いている軒爪をスライドさせ軒先の高さに合わせて調整します。

④専用金具で屋ネットと接続します



専用金具付属帯板を 本体に巻きつけ、ボルトナットで専用金具に 固定し、雪止本体の ナットを締め付けます。

②弊社雪止めを取り付けます



屋根にアングル用の 金具を取り付けます。

⑤完成



本体1台につき、コロニアルの働きに合わせた金具が必要です。

専用金具が使用出来 ない場合は、つかみ金 具と番線にて固定して 下さい。

③専用金具と弊社雪止めを接続します



②で施工した雪止金 具に専用金具を両脇 からはさみ、ボルトナッ トを締めて固定します。 専用金具付属帯板は長さ300mm・600mmの2種類があります。

※つかみ金具と番線を使用した固定方法 については次ページを参照下さい。

<注意>

屋ネットは、軒先の雪を「落ちにくく」する金具です。 屋ネット止金具の上部で必ず雪止金具を入れて下さい。

- ●商品名 三角コロニアル用金具帯板(300)付
- ●品番 YCT-4
- ●材質 SUS304



コロニアル

□既設アングルが施工されている場合

施工方法:番線にて施工

①軒先の高さを決めます



屋ネット本体に取り付いている軒爪をスライドさせ、軒先の高さに合わせて調整します。

4完成



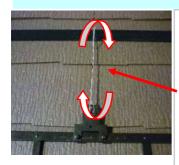
屋ネット本体1台につき3点留めを推奨としますので、つかみ金具を3本使用して同じ様に3ヶ所固定して下さい。

②フック部を固定します



屋ネット上部につかみ 金具を取り付けし、ネ ジを締め付け固定しま す。 ※一列で複数台取り付け時の金具ジョイント部については、次ページのジョイント部写真を参照して下さい。

③番線で屋ネットを接続します



本体の軒爪を軒先引っ掛け、アングルとつかみ金具を番線にて巻き付け固定します。番線は必ずステンレスの#16(1.5mm)以上のものを使用し、往復3回以上巻き付けて下さい。



※既に施工されているアングルから屋 ネット上部まで270mm以下の場合は アングル用帯板600での施工が可能で す。

施工方法はP.8を参照下さい。

<注意>

屋ネットは、軒先の雪を「落ちにくく」する金具です。 屋ネット止金具の上部で必ず雪止金具を入れて下さい。

- ●商品名 つかみ金具
- ●品番 -
- ●材質 SUS304



コロニアル

口既設の雪止金具がある場合

施工方法:番線にて施工

①軒爪の高さを決めます



屋ネット本体に取り付いている軒爪をスライドさせ、軒先の高さに合わせて調整します。

4)完成



屋ネット本体1台につき3点留めを推奨としますので、つかみ金具を3本使用して同じ様に3ヶ所固定して下さい。

②フック部を固定します



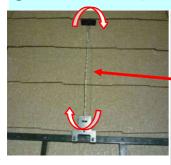
屋ネット上部につかみ 金具を取り付けし、ネ ジを締め付け固定しま す。

ジョイント部



一列に複数台取り付けする時のジョイント部の金具取り付けは 左記写真を参照して下さい。

③番線で屋ネットを接続します



雪止金具とつかみ金 具を番線にて巻き付け、 固定します。

番線は必ずステンレス の#16(1.5mm)以上の ものを使用し、往復3 回以上巻き付けて下さい。 一列での複数台取り付け時のつかみ金具数量 は

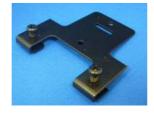
金具数量=(本体台数×2)+1

上記計算式にて、算出して下さい。

く注意>

屋ネットは、軒先の雪を「落ちにくく」する金具です。 屋ネット止金具の上部で必ず雪止金具を入れて下さい。

- ●商品名 つかみ金具
- ●品番 -
- ●材質 SUS304



取付金具 一覧

今回、施工時に使用した各種取付金具になります。各金具についている帯板は300mmと600mmの2種類が御座います。状況により、使用する長さが変わりますので御注文の前に再度、屋根寸法(働き・軒先から取付位置までの寸法等)御確認頂いたのち、御指定下さい。

















注文日

月 日送信

ニイガタ製販株式会社 オーダーシート

FAX 0256-38-51	59	注文	書 	<u>_</u>	
お申込み者様名:		TEL:			
御住所: 〒		FAX:	FAX:		
	<u> </u>		Market College	144	
商品名	材質・サイス	・カラー	品番	数量	
備考:					
希望納期: 月	日着希望	御担当者	≸様 ∶		
お届け先名:		TEL:			
御住所: 〒		FAX:			

御注文の前に内容やお届け先等、いまー度御確認下さい。

御注文ありがとう御座います。 御不明点等、お気軽にお問合せ下さい。 宜しくお願い致します。 SEIHAN コイガタ製販売記念社 本 社/®955-0021 新潟県三条市下保内反中267-1 TEL (0256) 38-1871他 FAX (0256) 38-5159他